

研究タイトル:

建築物に作用する荷重に関する研究



氏名:	中島秀雄 / NAKASHIMA Hideo	E-mail:	nakashimahideo@oyama-ct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	日本建築学会、日本建築構造技術者協会		
キーワード:	温度荷重、降灰荷重、性能設計		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・温度荷重に対する設計 ・火山噴火に対する建築物の安全性 ・耐震設計、耐震補強 		

研究内容:

テーマ1 温度荷重に関する研究

建築物は温度変化や日射の影響で伸縮し、ブレースの座屈やコンクリート壁のひび割れなどの不具合を生じさせることがあります。本研究室では温度荷重の設定、解析、不具合の防止など設計に直結する課題に取り組み、主に温度と変形の実測や簡易な予測方法について研究しています。また、温度荷重と風や雪などの荷重との組合せの効果や、温度応力の繰返しによる構造物の疲労破壊についても研究しています。

テーマ2 火山噴火に対する建築防災

火山噴火の頻度は地震や台風より低いですが、ひとたび起こると広域に被害を生じさせます。本研究室では火山噴火による降灰等が建築物にどのような影響を与えてきたかを幅広く調査するとともに、建築物の屋根がどの程度の降灰重量に耐えられるかなどを検討し、地域の防災に貢献することを目標としています。

テーマ3 建築物の性能設計の推進

建築物に求められる性能をわかりやすく表現する方法と性能を満たすための計画の手法について研究しています。海外の基準で建築物の性能がどのように数値的に表現されているかの調査や、実在する建物がどのような性能を有しているかなど具体的な課題を設定して取り組んでいます。

researchmap: https://researchmap.jp/str_eng

研究紀要: -

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	